

令和7年元旦 新年挨拶

福島町議会議長 溝部 幸基

「熟議を尽くし実感できる政策提言、さらに情報発信・共有」

謹んで新春のお祝いを申し上げます

日頃から、議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼を申し上げます。昨年、まちづくり・議会両基本条例の趣旨を踏まえ、町民の皆さまの期待に応えるべく、積極的に議会活動を進めてまいりました。

福島町議会が取り組んできた議会改革が再び評価され早稲田大学マニフェスト研究所主催「議会改革度調査 2023」（情報共有部門）において、全国1位の評価をいただきました。本年も引き続き、両基本条例の趣旨に沿い、「熟議を尽くし実感できる政策提言」「さらに情報発信・共有」を心掛け、独任制の町長に対峙する合議制の議会であることをしっかり認識し、政策形成のできるだけ早い段階に議会・議員の意思を示し、計画・予算から決算・評価に至る各段階で政策の具現化を目指して、積極的な議会活動を展開してまいります。

昨年11月13日開催の第68回町村議会議長全国大会で、多くの町村において、長期的な人口減少、東京一極集中による過疎・少子高齢化、頻発する自然災害、諸物価の高騰などが深刻な問題となっており、自主財源が乏しい中で、増大する役割に迅速・的確に対応しなければならない厳しい状況下で、「地方創生の更なる推進、分権型社会の実現」「大規模災害からの復旧・復興、原発事故対応、防災・減災対策の強化」などの諸課題解決に向け、議会の機能強化、多様な人材の参画を目指す環境整備に向けた強力な取り組みなども必要であるとし、地方議会人が、一致結束し、果敢に行動していくと宣言・決議しております。

福島町議会としても、宣言・決議の趣旨をしっかり受け止め、厳しい状況を勘案し、より一層研鑽に励み、町民の負託に応え、議決責任・説明責任を果たすために、活発な議会活動を推進しなければなりません。本年も「町民と議員の懇談会」を2月3日（月）から、皆さんのお話を聞くことを中心に開催いたしますので、積極的に参加し、率直なお話を聞かせていただきますようお願いいたします。

コロナ感染症も未だ完全収束とはならず、ワクチン接種が続いておりますし、インフルエンザの発症も多く、児童・生徒など、感染の低年齢化も懸念されますので、予防（手洗い・消毒・マスク着用など）の徹底を恒常化することが大切です。

町民の皆さまのご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、新春のごあいさつとさせていただきます。